



諸遊議員

「道の駅」進ちよく状況は

整備計画を策定中

問 合併時の目玉であり、また町民待望の「道の駅」がまだ進行していない。

以前執行部より、設置場所は名和インターの付近はどうかという提案はあったが、その後どのような規模でオープン是何時頃になるのか、またその予算規模はどの位のものなのかまだ発表がない。町長は、「大山恵みの里」構想の中に農産物も一次

産業で儲けるばかりでなく加工品として売り、大山のすばらしいロケーションを活かして食べに來ていただく、そういう仕掛けづくりをもっとしていくと言っているが、その中心となるのが「道の駅」ではないか。

答 (山口町長)

10年以内には山陰道が大山町内を全面開通する

予定である。県内は全線無料区間であるので、京阪神方面からの鳥取県への観光客はかなり増加するものと予測される。

町内には、大山ブランドとしての可能性を秘めた農林水産物やその加工品も豊富にあり、これらの情報を発信できる場所が計画に掲げた「観光・物産・情報の総合的な拠点」(道の駅)であり、国土交通省が認定する道の駅の限定ではない。

この拠点施設は、来年3月に開通する名和インターチェンジ周辺が適地であると考えている。現在平成20年度の供用開始を目的に整備計画を策定中である。

予算規模は、概算として1億から1億5千万円程度である。

どうなるのか大山診療所

医師不在にならないようにする

問 岡田医師が就任されずか2年数ヶ月で

退職されることとなり、患者はもとより地元住民また町としても大変困った問題が発生したと思う。

そこで三点質問する。

- (1) 岡田医師は本人が地元出身ということもあり、大山診療所を運営することにに関して大変深い思い入れで就任された。それが短期間で退職されることになった原因はどこにあるのか。
- (2) 今後こういう事態が発生しないために、医師は年数契約で雇用さ

れたらいかがなものか。
(3) 大山診療所の職員は全員が嘱託・臨時・パートである。つまり全員の雇用契約が一年未満であるため、四月以降の勤務に大変不安を持っている。対応はいかに。

答 (山口町長)

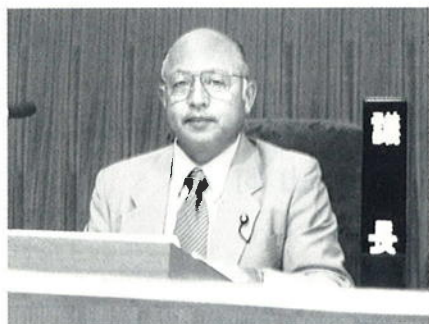
(1) 決して町に不満があったという訳ではないが、開業という時期を考えれば、今を逃がすわけにはならないという思いが強い。

かったという事を聞いています。
(2) 委託するなら契約ということも有り得るが、あくまで直営の診療所であり、勤務する医師は町の職員である。
(3) 今後の職員の雇用については取り組みを強化していきたい。
来ていただく医師が、外来だけなのか入院を含めた診療なのかによって対応が違う。

鳥取県西部町村議会議長会長に 鹿島議長が就任

平成19年7月6日に開催された西部町村議会議長会臨時総会で、本町鹿島功議長が、鳥取県西部町村議会議長会の会長に選ばれました。

地方議会発展のため、ご尽力をお願いします。



地元農産物で賑う。JA (アスパル) 日吉津店